



ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず6ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 整備提案審査委員会には、白黒コピーを配付しますのでご注意ください。
- 資料をA4判2ページまで添付することができます。その場合、添付資料の左側に15mm以上余白を確保してください。

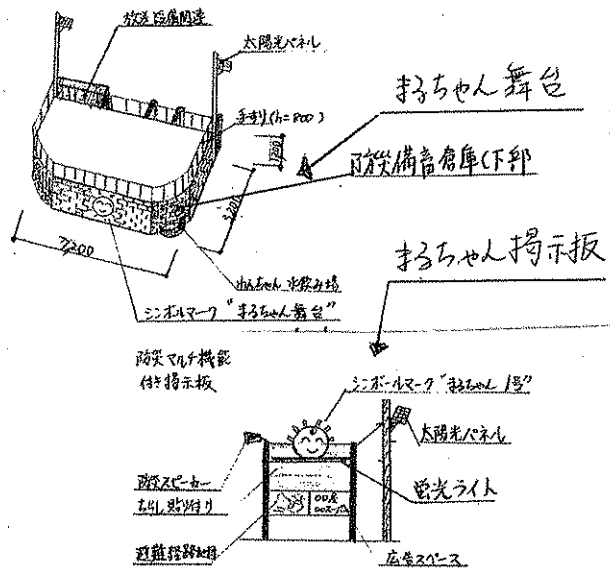
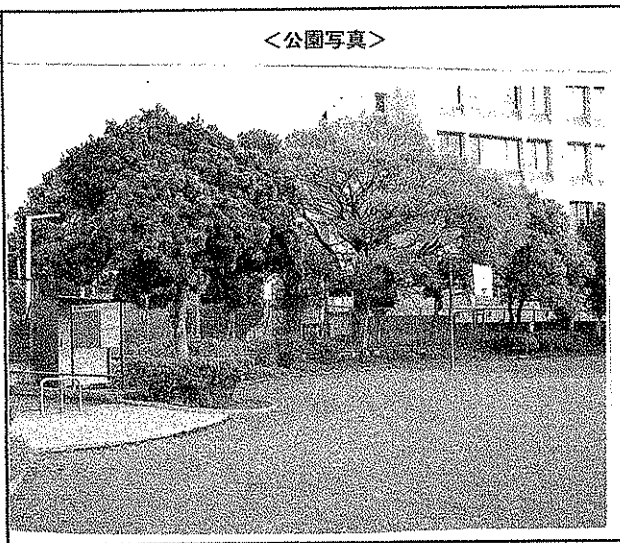
1 整備提案の概要について

<p>整備提案名 (25字以内)</p>	<p>まるちゃん ～防災マルチ機能付き舞台・掲示板の整備～</p>
<p>提案グループ名 (25字以内)</p>	<p>三春の丘いえ・みち・まち応援隊</p>
<p>整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)</p>	<p>南区 三春台地域</p>
<p>整備場所の位置 (整備場所周辺の地図をはり込んでください)</p>	<p>三春台町内会・三春台東町内会 地図(カラー)</p> <p>★ 掲示板の位置</p>
<p>整備提案の概要 (どのような整備を提案するのか簡潔に記入してください)</p>	<p>① 一時避難場所に指定されている二つの公園に、多目的に使用できる舞台を設置する。地震災害等が発生した時に、住民が避難してきても、一時的に生活ができるよう『太陽光発電・電気・ガス・水道・トイレ・放送設備』等の地震災害に対応できる基盤整備を行う。舞台下部は防災備蓄を含んだ倉庫。</p> <p>② また、地域に設置されている掲示板の整備と避難路掲示板等を設置して、地震災害が発生しても地域住民が慌てず避難できる機能の整備を行う。</p> <p>③ 避難所に集まった人達が不安感に駆られないよう、多目的舞台を活用して復旧情報を正確に伝えられる機能の充実を図る。</p>

<p>整備提案の動機や背景</p> <p>(整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<p>① 三春の丘には二ヶ所の公園があるが、普段は、地域の人達の憩いの場としての役割を担っている。一方、地震災害が発生した場合『いっとき避難場所』となっている。しかし、私達の勉強会メンバーや地域住民から『いっとき避難場所や地域防災拠点などの違いが分からない』との声を多くいただきました。三春の丘応援隊は、『いえ・みち・まち改善事業勉強会』で学んだ知識を活かし、三春の丘の夢を実現するために、具体的な取組みとして、二つの公園内に『多目的に使用できる舞台（まるちゃん舞台）』を設置する。また、『いっとき避難場所』にたどり着くための『避難路地図掲示板』設置する。さらに、現在設置されている掲示板機能を見直し、地域のコミュニケーション活動の充実を図る。(まるちゃん掲示板)</p> <p>② 私達の町内会の二つの課題</p> <p>◎ 『地域の連帯意識の低下』と『少子高齢化の進展』の課題</p> <p>◎ いえ・みち・まち改善事業勉強会で学んだ『地震災害に弱い街』の課題克服。</p> <p>この課題解決の為に、三春台町内会・三春台東町内会の有志が集い、『いえ・みち・まち改善事業勉強会』を立ち上げ、数多くの勉強会と現地視察会を行い、三春の丘の『強み（さらに伸ばせること）』・『弱み（改善すること）』を学ぶことができた。この勉強会を広く地域住民に知っていただくための第1歩として、『三春の丘地震・防災フェスティバル』を開催。成果として、『地域住民への啓蒙』と『いえ・みち・まち改善事業勉強会』に取り組んだスタッフ達の自信に繋がった。そして、これから様々な課題を解決していく為の“第2歩”として、まち普請事業に皆で取り組んでいきたいです。</p>
<p>整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？</p>	<p>① この取組みによって、地域住民の意識を変えるきっかけにしたい。自らの街は自ら守る『地域力の向上』に繋げていく。</p> <p>② ハード面の整備による防災基盤の充実とソフト面の整備によって、いざという時に明確なメッセージが発せられ、避難された地域の人達が安心してひと時を過ごすことができる。</p> <p>③ また、普段は、『多目的に使用できる舞台』を活用した防災イベントや防災教室の開催。また、地域住民のコミュニケーションの場として、お花見・盆踊り・フリーマーケット・ラジオ体操等の催にも活用することができる。このような取組みによって、地震災害に強い街づくりへの貢献と地域住民の連帯意識の向上に繋がるまち普請事業の提案である。</p>

2 整備提案の具体的な内容について

整備場所の現在の状況を写真等で示すとともに、具体的な整備の内容について文章やイメージスケッチ等で表現してください



<三春台第一公園・三春台第二公園内に多目的舞台の設置>

『いっとき避難場所』に指定されている二つの公園は、地域住民が避難するだけの機能になっており、いざという時に、避難した人たちが不安の日々を過ごす場所になってしまう。また、集まった人たちに復旧のため情報を提供するにも、放送設備を有しておらず正確なメッセージを発することが難しい。そのために、地震災害に対応できる機能を備えた多目的舞台の設置を行うための基盤整備を行う。

① 面積 (23.04㎡)

高さ (1.2M) 間口 (7.2M) 奥行き (3.2M)

② 設備

- ◎防災・防犯対応型放送設備◎電気設備◎太陽光発電設備◎水道設備◎照明設備
- ◎ガス設備(都市ガス・プロパン)◎トイレ設備◎フェンス
- ◎防災備蓄や公園管理道具の倉庫

③ 地域イベントの活用

- ◎ 防災防犯イベント◎公園清掃◎ラジオ体操◎お花見◎盆踊り等

<避難路掲示板>

① サイズ

高さ (1.8M) 間口 (0.6M)

② 設備

- ◎ 照明設備(太陽光発電と電気設備の切り替え)◎避難路案内地図

③ 活用方法

- ◎ 地震災害時に地域住民が安心して避難できるよう『いっとき避難場所』までの経路を表示(地域防災拠点)(広域避難場所)も表示できるようにする。
- ◎ 平時の避難訓練にも積極的に活用

<掲示板・住居表示板の整備>

① サイズ

現状のサイズを基準に

② 設備

- ◎ 照明設備(太陽光発電と電気設備の切り替え)◎掲示板機能の充実

② 活用方法

◎ 地震災害が発生した場合には、平常時は地域連絡機能を地震災害復旧連絡機能に変える。

総工事費（概算） 約 500万円

3 提案の創意工夫について

<p>提案内容におけるアイデアやユニークさ</p>	<p>① 私達のまちは『いえ・みち・まち改善事業』にこだわりを持ちます。その理由は、三春の丘は、防災シュミレーションにおいて『課題のある街の4冠王』選ばれました。その課題を克服するための大きな取組みが『まち普請事業コンテスト』への応募です。これをきっかけに、まちづくりを具体的に進める第一歩にしたい。</p> <p>② 私達のまち普請事業は、</p> <p>◎マルチ機能機能付き舞台（通称：まるちゃん舞台） 太陽光パネルによる電気設備・ガス・水道・トイレ・放送設備完備の防災拠点 災害時の防災用具が完備された倉庫 平常時にはイベント等をする際の舞台として活用 犬の水飲み場付き</p> <p>◎マルチ機能付き掲示板（通称：まるちゃん掲示板） 太陽光パネルにより夜間に明るい掲示板（防犯機能） 避難経路表示板付き（防災機能） 平常時にはチラシ等の掲示（情報発信機能）</p>
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在すでに獲得し、今回の提案で活用するもの</p>	<p>私達の地域資源は『人』である。まち普請事業には、『物』『金』も確かに必要であるが、私達の宝である『ヒトの力（知恵・技術力・組織力）』を最大限活用してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校からの協力（人） ・地域住民によるマルチ機能付き舞台の設計技術提供（人） ・地域工務店等による施行の技術指導提供（人） ・整備に必要な材料を安く入手可能（物） ・整備に必要な建設機会のレンタル（物） ・自治会町内会からの資金的な支援（金）
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在は不足しているが今後獲得していきたいもの</p>	<p>① 地役者である土木事務所に公園の使用許可を取る。</p> <p>② 地域でバザー等を行い資金を集める。</p> <p>③ また、資源の再利用の観点から廃品回収活動に取り組み、回収で得られたお金を子供会活動や老人会活動に活用しています。</p> <p>④ 設置後のメンテナンスを自分達の手で行う。</p>
<p>整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのよ</p>	<p><具体的な活動></p> <p>① 町内会活動（『報告・連絡・相談』）を好循環で回すために行う『常会活動』</p> <p>② また、公園清掃・地域清掃を毎月2回実施する町内会活動の</p>

うにかかわっていきませんか？	<p>『ボランティア活動』</p> <p>③ さらに、新聞紙・ダンボール・紙パックの回収を毎月2回実施している『環境に優しい街づくり活動』</p> <p>④ 町内会活動の『ラジオ体操・盆踊り・餅つき大会・クリスマス会等の活動』</p> <p>⑤ いえ・みち・まち改善事業勉強会による『防災イベント』</p> <p>⑥ 連合町内会主催の『避難訓練・防災訓練活動』等</p>
----------------	---

4 計画性について

整備提案を応募することについて、地権者（土地所有者、借地権者）や実質的に使用権利を持っている人、会社又は行政機関の対応状況を記入してください ^{注6)}	
<p>① 町内会の掲示板については、その改善設備については町内会の了解済み。</p> <p>② 多目的舞台・避難経路表示板の設置場所と町内会掲示板の整備場所は、現在、公園内と公道および私有地内になっている。そのために、二つ町内会組織代表を通じて、公園管理者である南区土木事務所へは、その取組みの意義と必要性について説明済み。</p> <p>③ 町内会掲示板が設置されている私有地については、掲示板の整備と避難路掲示板の設置について、その地役権者に協力要請（予定）</p>	

注6) 事前に必ず地権者等に整備提案の内容及び1次コンテストに応募することについて説明してください。

2次コンテストに向けた活動計画（打合せ、勉強会、地権者・近隣住民・自治会町内会・関係機関への説明及び合意形成、2次コンテストの応募書類準備など）を具体的に記入してください	
6 月	<p><活動開始・体制整備></p> <p>① 地権者や関係者（公園管理者）の確認と協力依頼開始</p> <p>② 現地再調査（権利関係・多目的舞台設置場所・掲示板・避難路掲示板等の設備設置方法等）</p> <p>③ 計画内容や施設の設計の基本的な方向を確認し、二次コンテストにむけて 広報活動に取り組む。</p> <p>④ 公募を含めワーキンググループを設置する。（技術T・広報調整T）</p> <p>⑤ 実現可能な案の取りまとめの方向を確認</p> <p>⑥ 専門家の決定（技術者・コーディネーター等）の決定。</p> <p>⑦ 活動助成金の交付申請</p>
7 月	<p><資料・提案材料の整理・関係者への説明と意見の把握・技術的な現実可能性の確認等></p> <p>① 設備設計の検討開始</p> <p>② 地権者や関係者（公園管理者）の確認と協力依頼開始</p> <p>③ 多目的舞台・避難路掲示板・掲示板等のアイデア募集（広報）</p> <p>④ 説明情報の収集整理開始（必要性の説明・技術的な代替案・概算費用・効果の実証方法等）</p>
8 月	<p><中間のまとめ></p> <p>① 検討条件の確定（方向性・使用・役割分担・初期費用概算と中長期的費用概算）</p> <p>② 中間案の取りまとめと町内会等との調整。広報。普請事業担当窓口との協議と意見交換。</p>
9 月	<p><ラストスパート（足下の強化）></p> <p>① 定期点検等の維持・メンテナンスやバザー等の費用確保の方法等、地域の取り組み体制の検討。</p>

	② 広告や企業協賛の打診（初期費用及び維持段階） ③ 町内会による資金支援（初期費用及び維持段階） ④ 二次コンテストに向けた提案説明（勉強会・説明会）
10月	<応募書類の作成・まとめ> ① 設備設計の確定と費用算定 ② 多目的舞台・避難路掲示板・掲示板等の工事量の確定と費用試算 ③ 初期費用概算と中長期的費用概算 ④ 2次コンテスト応募書類提出
11月	<プレゼン準備> ① 審査員の現地への招致（是非、夜間も見てもらう） ② プレゼンテーション情報収集と説明情報等の補足強化
12月	<2次コンテスト> ① 二次コンテストの反省とさらなる取り組み

5 特にPRしたい点について

提案について特にPRしたい点があれば、自由に記入してください	① 地域の情報共有の仕組みとして、地域全体最適の提案であり、『まち普請事業・いえ・みち・まち改善事業』を推進するモデル的な取り組みである。 ② 地域力を活かした『まちづくり事業』へのきっかけづくりとなる取り組みである。この結果、地域コミュニケーションが向上し、町内会活動等の活性化に寄与する相乗効果が期待できる。 ③ この取り組みは、震災時に地域住民の『安全・安心』の醸成に役立つことができる。また、『まち普請整備事業』の相乗効果によって、『地域間コミュニケーションの向上』が図られ、安全・安心街づくり（防災・防犯・環境・教育等）のきっかけとなる。多様な面で『ヨコハマまち普請整備事業』に役立つ取り組みである。
--------------------------------	---

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報に含まれていません。

『まち普請事業』と『いえ・みち・まち改善事業』相乗効果による計画案





整備提案名

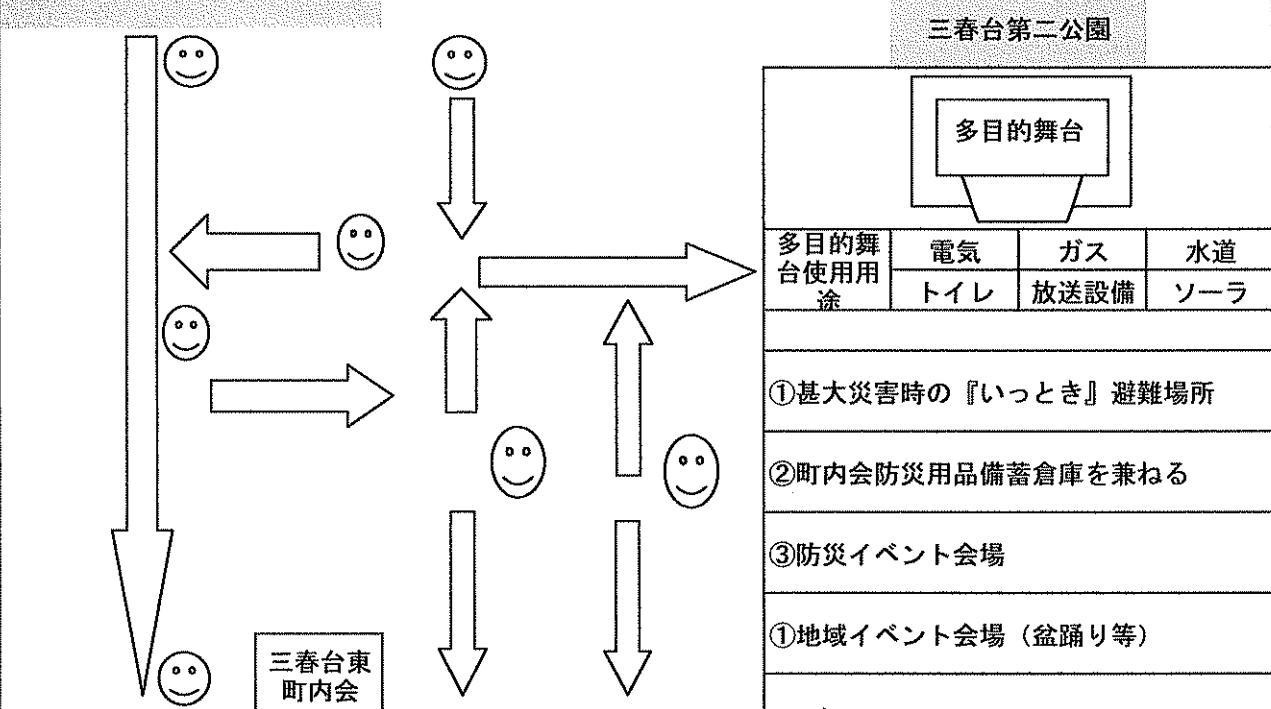
『まるちゃん〜防災マルチ機能付き舞台の整備』

整備提案の概要

いえ・みち・まち改善事業勉強会で得られた三春の丘の『強み・弱み』を基に、地域住民が『地震や災害に備える街』。地域住民が『住む喜びを感じられる街』三春の丘から『巣立っていった子供達が戻って来たい街』を目指し、三春台第一公園・三春台第二公園の場所を地域防災の要『多目的舞台を設置』として整備を行う。また、地域の大きな課題である震災が発生した場合に必要な避難経路表示板『防災専用掲示板の設置』の整備も合わせて行う。

三春台東をイメージ

町内会  公園  防災掲示板  多目的舞台 



 印は

- ① 避難経路地図の表示
- ② 防災・防犯スピーカー内蔵
- ③ ソーラ又は自動電源

『いえ・みち・まち改善事業』を基にした計画案

整備提案名

『まるちゃん〜防災マルチ機能付き掲示板の整備』

整備提案の概要

いえ・みち・まち改善事業勉強会で課題提起されたテーマをもとに、“太陽光発電と防犯照明（防災対応）一体型町内会掲示板の整備事業”を通して、『地震や防災に強い街づくり』を目指す。

2町内会をイメージ

町内会・



公園



掲示板

